

# みでの

永平寺  
町議会  
だより



第62号 INDEX

令和3年5月7日発行

そこが聞きたい!  
議員13人が一般質問 P11~17  
議会活動レポート P18



永平寺町議会  
facebook

永平寺町議会	検索
--------	----



永平寺温泉禅の里から見た夕映えの鷲ヶ岳  
写真提供 酒井 順子さん

### 令和3年 第1回臨時会報告

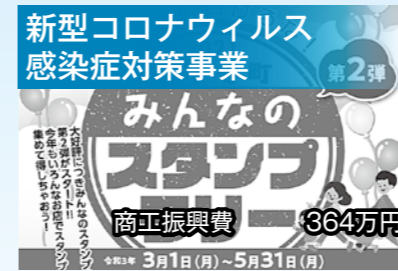
令和3年第1回永平寺町議会臨時会は、1月8日(金)に開催されました。審議された内容は次のとおりです。

### 令和2年度一般会計補正予算審議報告

一般会計補正予算

総額 **4,355**万円

【主な項目】



新型コロナウイルス感染症対策 防災費	1,983万円
松岡中学校特別支援教室改修工事請負費	587万円
農業振興費 儲かるふくい型農業総合支援事業補助金	1,350万円
志比北小学校特別支援学級 備品購入費・委託料	70万円
【専決】越坂団地漏水修繕工事	137万円

### 主な質疑応答

**問** 避難所への簡易ベッド設置、町の地域防災計画では避難情報発令時の避難所は8か所だが、7か所の予算となっているのはなぜ。

**答** 以前、吉野、坂上地区の防災訓練のときに永平寺町が大规模災害の支援のときのモデル地区として認定された中で、県から簡易ベッド10台を既に無償提供されておき、今回の7か所の10台ずつの70とで、8か所各10台ずつ揃うこととなる。

**問** スタンブラー第2弾、改正点は。

**答** 台紙を全世帯に郵送。前回は5店舗印で換金だったが、今回は3店舗印で金券化。消費喚起を進めたい。

### 第1回臨時会議案

議案第1号 令和2年度一般会計補正予算について	可決
承認第1号 令和2年度一般会計補正予算の専決処分の承認について	承認
議案第2号 損害賠償の額を定めることについて	可決

### 令和3年 第2回定例会報告

令和3年第2回永平寺町議会定例会は、3月1日(月)から3月23日(火)まで23日間開催されました。審議された内容は、次のとおりです。

### 令和2年度一般会計予算審議報告

一般会計補正予算

総額 **2億4,718**万円

【主な項目】

#### 松岡東幼稚園リフレッシュ費



財政調整基金積立	1億1,120万円
農業振興費 米需給円滑化、担い手、農地管理	△1,193万円
農地費 中山間地域整備	1,664万円
道路新設 永平寺インター線	△945万円
【専決】町内道路除雪費	2億500万円
コロナワクチン接種	848万円

国民健康保険特別会計

**2,034**万円

介護保険特別会計

**7,750**万円

町立診療所特別会計

**395**万円

下水道事業特別会計

**574**万円

### 主な質疑応答

#### 一般会計補正予算 第1審議

**問** コロナ感染拡大に伴う町民への生活実態調査を、オンラインで行うことは、十分な回答を得られないのでは。

**答** 人口18000人の1割程度の回答数を目標としている。町の公式アカウントに17000人登録している。

**問** 財政調整基金に1億120万円積み立てるが、コロナ対策などで町民にもっと還元すべきでは。

**答** コロナ対策等で、基金取り崩しを2億円している。積み立てることも必要と考えてのこと。

**問** 住まいる定住応援事業の増額で、最終75件はすこい。3ケ年の実績は。

**答** 平成30年度40件・124人に。令和2年度43件・137人に。令和2年度60件・218人に対し応援した。

**問** 大雪時の除雪で傷んだ道路や河川公園の修復計画は。

**答** 緊急度の高いものは今年度。その他は6月補正で対応したい。

**問** 松岡東幼稚園(以下、東園)はハザードマップでは河岸侵食区域で危険度が高いと思われる。

**答** 擁壁工事による補強、ハザードマップでの周知、避難訓練の実施等の複数の対策により安全性を確保する。

**問** コロナ禍で救急救命士の研修や訓練等ができない状態。業務に大きな影

**響** 現場に出れる救命士は10人確保している。来年度は優先で研修に参加できる。また、手術が減少している中で、その研修もなかなかできない状況にある。一方、日頃の業務は増加している。コロナ感染防止対策をとりながら実施している。

#### 一般会計補正予算 第2審議

**問** 東園は川岸に近くリスクが高いと考えられる。氾濫区域が非常に広いが意味はあるのか。作成側の意見は。

**答** ハザードマップは国交省と県が作成したもので詳細は分かりかねる。東園の擁壁は強度な擁壁を十分協議して設計したい。また、今回は平成28年以前の国交省のデータを基に作成した。

**問** 高齢者、障がい者など支援が必要な公共施設は安全な所に建てるようにとされている。行政としてこのまま進めるのか。

**答** 場所がない現状から東園とした。災害が来ると分かった時、早め早めに対応をする。

**問** 安全なのは、なかよし幼稚園(以下、なかよし園)、松岡西幼稚園(以下、西園)のみ。現状は東園よりも松岡幼稚園(以下、松幼)が安全。新園はかさ上げするか場所を変更するか考えるべき。

**答** 浸水は予測でき早めに対応できる。松幼は園庭がイエローゾーンで法律上、建築規制がある。新園の整備に向け3月5日の業者打合わせで避難訓練とかさ上げを提案している。

## 議案への賛否討論

#### 議案第3号

#### 令和2年度一般会計補正予算について

**反対討論** 滝波登喜男  
東園のある場所は、新ハザードマップでは河岸侵食の危険性が高いとされ、九頭竜川に面している。そこに増築して児童を保育する施設を存続させることを、行政がやってもいいことなのか。もう一度検討すべき。

**賛成討論** 中村勸太郎  
2年以上町長・行政・保護者と多量の課題について慎重に石橋をたたきながら協議を積み重ねてきた。東日本大震災の教訓やハザードマップの内容も検証し、安心対応・安全対応を盛り込んだ幼稚園リフレッシュ事業である。

**反対討論** 金元 直栄  
東園のリフレッシュ工費1億5千万円が計上されているが、3月に示された町のハザードマップで東園は河岸侵食区域となっている。近年の洪水災害の教訓は、浸水域等の地域に公共施設は作らないということだ。なかよし園と西園は安全域に立地している。一度立ち止まり再考するべき。

**賛成討論** 酒井 秀和  
当補正予算は、ウイズコロナ・アフターコロナに向け住民の安心安全に直結する施策となっている。東園の論点となっている洪水ハザードマップは千年に一度の水害による危険の可能性を示すもので、建物の建

設制限を行うものではない。

**反対討論** 長岡千恵子  
3月1日に洪水ハザードマップが全戸配布され、マップが示す危険地区に東園や新園の予定地が含まれている。東園リフレッシュ工事や新園建設を進めれば保護者の不安は大きい。立ち止まって、子どもの安全と安心、命を守るために再検討が必要と考える。

**賛成討論** 酒井 和美  
洪水災害は事前避難が可能。地震災害のほうが危険度は高い。東園ではなく西園を残した場合、周囲が住宅密集地であり火災や建物の倒壊、交通の混乱、余震による二次被害も心配。志比界地区の方は東園で迎えが済んだほうが安全。東園のリフォームが最善の選択。

**反対討論** 上田 誠  
東園リフレッシュ工事については、ハザードマップで河岸侵食区域の最も近くであり、工費も1億5千万円＋防護工事と含めると2億近くかかる見込みである。公共施設の安全性、保護者の不安にも繋がる。今一度立ち止まって検討が必要。

**賛成討論** 江守 勲  
この補正予算は住民の福祉サービスに直結する大切な予算である。また、東園リフレッシュ工費は、これまで議会と行政で時間をかけ議論され、議会提案で地域性と園児のバランスを考え東園を残すと決まった。ハザードマップは建築制限をするものではなく、改修工事も安全対策を取ると確認した。

# 令和3年度当初予算審議報告

令和3年度  
当初予算  
**総額** **139億2,763万円**  
2.0% (前年度予算対比)

議案第10号「令和3年度一般会計予算」と議案11号から議案第17号までの「特別会計予算」及び議案第18号「企業会計予算」について、慎重に審議を行い原案通り可決しました。



<b>新型コロナウイルス感染症対策事業</b>  新型コロナウイルスワクチン接種事業 3,075万円	<b>自動走行推進事業</b>  自動走行運行委託等 1,261万円	<b>子ども医療費助成事業</b>  高校3年生まで無償化 6,487万円
<b>教育振興費 教育コンピュータ整備事業</b>  各小・中学校タブレット導入等 2,532万円	<b>IT拠点施設運営事業</b>  IT拠点の維持管理・施設の修繕及び改修工事等 1,916万円	<b>新型コロナウイルス感染症対策事業</b>  永平寺町みんなのスタンプラリー事業補助金等 3,291万円

## 主な質疑応答

### 一般会計当初予算 第1審議

#### ◆総務課

**問** 高齢者運転免許証自主返納支援事業は返納した年度だけを対象にしたものか。

**答** 満70歳以上の返納者にタクシー利用券または、えちぜん鉄道回数券を交付する事業で、運転経歴証明書の交付を受けた年度を対象とし、支援は一人につき1回限りである。

**問** えちぜん鉄道利用推進事業で今後の計画や要望は。

**答** 永平寺口駅の支柱が老朽化しているため修繕工事を行う。また駅構内および周辺の環境整備に備え、利用者の安全性と快適性向上に努めた。

**問** 防犯対策事業の町が設置する防犯カメラの設置場所と理由は。

**答** 設置場所は谷口地係2か所と東古市地係1か所を予定している。この場所は児童生徒の通学路で車両通行量も多く、設置することで注意喚起と犯罪の抑制を図りたい。

#### ◆財政課

**問** 特別交付税、令和2年度の実績は。

**答** 現時点で1億7125万9千円

をいただいている。今年度の動きとして、総務省において特別交付税の総額を前年比6.6%減としている。

#### ◆総合政策課

**問** IT拠点施設運営事業、用途変更に必要な費用総額は、今後の計画は。

**答** 改修費用、令和2年度は1392万9千円、令和3年度は1157万9千円を予定している。今後は2階フロアと1階映像ホールなどニーズを踏まえて順次拡大で対応する。

**問** 移住定住促進事業、事業の拡充か、数値目標は。

**答** 住まいる定住応援事業の内容を見直し、新築住宅取得支援37件、空き家活用中古住宅取得支援5件、新規に移住就業等支援金制度で10件を目標としている。

**問** 自動走行推進事業の経済効果はどうか。見込み、目標は。

**答** 経済効果を数値化するものではない。町として周辺地域の声を反映し、まずは地域の足として確立することに努めたい。令和3年度は9200人の利用を見込んでいる。

**問** 地域少子化対策推進事業の内容は。

**答** 結婚新生活支援を目的として、対象者の引越費用、賃貸料を支援す

るもの。補助対象者は当該年度に婚姻届けが受理された所得400万円以下の夫婦。

#### ◆税務課

**問** 税の申告や会計のオンライン化が進められているが、当町の導入予定は。

**答** 平成31年4月から政府のキャッシュレス決済推進方針に呼応し、自宅でペイペイ等の請求書バーコード読み取りで納付ができるスマホ決済を導入している。

#### ◆農林課

**問** 小規模農家営農継続支援事業の申請見込みは、今後の支援は。

**答** 本町の実態として集積率が58.7%で県平均を下回っている。逆に41.3%が個人農家で支援が受けられない状態で頑張っていたらいい。まず3年間の様子を見て今後の支援を判断する。申請はJAの事例を見ても多くなると見込んでいる。

**問** 森林組合統合後の変化は。

**答** 合併前の間伐面積に比べ30ha増の90haに拡大。合併前は毎年285万程補助していたが、現在は事業借入利息分の50万円のみ。今後森林環境譲与税を活用して大型機械リース補助も検討していく。

#### ◆商工観光課

**問** えい坊館軽食コーナーを他用途への転換とあるがその内容と時期は。

**答** より効率的な活用を目指すため令和3年度は、一旦軽食コーナー休止して、公共施設の目的外使用といった形での運営を考えている。今夏には翌年度の方向性を出していく。

**問** 道の駅運営管理事業、駐車場の増設について評価と将来性は。

**答** 現状、道の駅では土日やイベント時に近隣駐車場を借りているが一杯。令和3～4年度で駐車場の拡張工事を実施する。中継延伸、北陸新幹線開通に向け地域の情報発信拠点として重要な役割を担うと考えている。

**問** スタンプラリー第2弾、第1弾との違いと予測は。

**答** 参加店舗数が139店舗、スタンプ3個で1000円の商品券として利用できる。利用期間は6月まで。町では50%の利用率を見込んでいる。

#### ◆建設課

**問** 住宅支援事業のブロック塀等除却事業補助金が減額、実績と計画は。

**答** 令和2年度は2件、15万5千円の実績。令和3年度は除去補助10万

円と設置補助10万円の合計20万円、3件分で60万円を予算計上している。

**問** 景観形成事業、委託料521万4千円とは。

**答** 令和2年6月10日に日本海コンサルタントと2年契約を締結。主に景観形成の目標、特定景観計画区域や届け出対象行為の検討および景観審議会などへの運営支援に対する人件費である。

**問** 道路橋梁維持補修事業の詳細は。

**答** 事業費1億5430万3千円で前年より6605万4千円の増額。道路舗装や安全施設など道路ストック補修工事の新規事業や経年劣化による擁壁補修工事が要因。

**問** 福井都市計画区域区分見直し事業、見直しの時期は。

**答** 県及び福井市、また農政局など関連機関との協議を進め、都市計画区域マスタープラン改定予定の令和5年に方針を反映させる。

#### ◆上下水道課

**問** 下水道事業特別会計全般として今後の更新計画は。

**答** 令和3年度から7年度まで大きな改修は予定していない。令和7年度以降松岡汚水中継ポンプ場のシ

ケンサ更新や圧送用予備ポンプの増設、また、令和8年度以降古い幹線管路を中心に管路調査を行い損傷箇所を補修を計画している。

#### ◆住民生活課

**問** 段ボールコンポストの今後の普及は。

**答** 令和2年度で措置されている予算で、まず50セットある。それを購入して5月に広く募集し、講習会をしてモニターになってもらう。

**問** 生ゴミ処理機についてはどうか。

**答** 令和2年度現在、購入補助は3件。

#### ◆子育て支援課

**問** 子どもの発達相談事業について。

**答** 親子支援教室を毎月1回、子育て相談を年2回。この事業については、福井大学子どものこころの発達研究センターの協力により開催している。臨床心理士や言語聴覚士による子育てに関する教室や相談会を実施し早期療育などにつなげることに、親の不安等を解決して育児支援を図っている。

#### ◆学校教育課

**問** 会計年度任用職員の職種および職員数は。

**答** 小学校では、学校運営支援員2名、学校教育支援員21名、看護師1名、複式解消講師3名、用務員7名で計34名。中学校では、学校運営支援員1名、学校教育支援員9名、用務員1名で計11名となっている。

### ◆福祉保健課

**問** 子ども見守り宅食事業、1月から社協で上志比でやってきたと思うが、他地区については。

**答** 現状上志比地区。現在協議している団体は松岡地区・永平寺地区を視野に入れている。

### ◆生涯学習課

**問** 地区振興会の目標7地区。スタッフが入って設立目指すことはどのような。

**答** 行財政改革実施計画の取り組み事項にて目標設定している。専門家の派遣行う。地域プロジェクトマネージャーも今後検討したい。

**問** 地域づくり、地域振興会の予算で間に合わないからわがまち夢プランが出来たと思う。予算あるならイベントするという一過性の取り組みではなく、自立できる地域づくりは。

**答** 頑張って地域づくりをしたいという団体に補助するもの。3分の2で上限20万。自立のために3回までとした。活発化した団体多い。地区

環境美化委員さんの講習会を開催し、雑紙や可燃ごみの分別回収への意識向上を図る。

### ◆福祉保健課

**問** 具体的なワクチン接種のスケジュールは。

**答** ワクチンの供給状況により変更があり具体的なスケジュールを示すのは難しい。現時点での予定は、各市町が主体となり進める住民接種は、県内市町で協議し各市町に300人分が配布され、4月上旬に高齢者入所施設の中からモデル施設を選定し、入所者と従事者の方で接種を希望される方からワクチン接種を始めた。

また、接種には予約が必要なので3月末にコールセンターを開設し取り組む。



振興会でも使いたいことあれば申請してほしい。

### ◆男女共同参画どう進めるか。

**答** 今年度は計画策定を行う。当町としては各地域の団体において役員に女性が選ばれない現実がある。そういうところから改善していきたいと思う。

### ◆介護保険特別会計

**問** 生活支援体制整備業務委託料521万円の具体的な内容は。

**答** 地域包括支援センターにコーディネーターを1名配置するための人件費委託料。支え合いを進める上でコーディネーターを配置して地域の方と様々に協議する体制をとる。活動に対する補助はまだ。

**問** 地域を支える組織づくりを無償ボランティアでやっていくのか。

**答** 体制が始まったときに協議し、有償か、無償か、軽度なサービスはワンコイン対応も可、人件費が丸々賄えるような高額なサービスとなると許認可が必要になる。軽度生活援助事業というシルバーさんと合わせた事業もある。

### ◆国民健康保険事業特別会計

**問** 在宅健診を国保連から派遣し特定健診の受診率アップにつなげることは評価したい。健康推進委員と

連携して地域の方々に啓蒙するような動きは。

**答** 在宅健診の派遣はあくまでも受診につながる個々の対象者に対して電話などで勧奨し、個人の健康を守るのが今年度の目的。

### ◆一般会計当初予算第2審議

#### ◆総務課

**問** ふるさと納税事業のポータルサイトを3つに増やす効果は。

**答** 利用者が多いポータルサイトを活用することで永平寺町の閲覧数増加による寄付額増加および自主財源の確保。返礼品の一元管理が可能となることによる業務効率改善も効果を見込んでいる。

#### ◆総合政策課

**問** 四季の森および禅の里笑来を通じた情報発信と周知について、集客に向けた強化策は。

**答** モニターツアーや企業、個人のワーケーションに対するニーズを把握し、本町の自然や観光を活かしたパッケージ開発や民間施設およびレジャー事業者との連携を検討し、継続的にYouTube等で動画発信していく。

#### ◆商工観光課

**問** えい坊館の設置目的、年間事業計画は。コロナで難しい所もある

が、物産協会の自立に向けた育成はいかがか。

**答** 設置条例に定める目的は①町民および来訪者の交流促進②地元特産品の展示物販飲食販売③地域及び観光情報発信。情報発信力・体制づくりが課題と認識している。物産協会の独立はお願いしたい。物産協会・商工会とも連携したワーケーションのための取組も考えているところ。利用者のニーズも生まれてきているところも併せて今後考えたい。

#### ◆建設課

**問** 準都市計画の見直しは。周辺集落から着手すべきでは。専任の職員が必要では。

**答** 見直し業務において3つの都市計画区域併存についての課題整理、再編パターンの検討を行ってきた。来年度再編案を作成しマスタープランの改定に際し、町の考えを県に示す。改定は手続きが膨大なため、一度の変更で済むように全体的に見直しを図っている。県からこの業務に詳しい職員の派遣がある。

#### ◆住民生活課

**問** 可燃ごみ減量化は、CO2削減に大きく役立つ。ポスターやチラシ、環境美化推進員対象の研修も含め、啓蒙、推進、目標達成への計画は。

**答** 広報誌やホームページ等で定期的に周知している。また、各地区の

## 議案への賛否討論

### 議案第10号

### 令和3年度一般会計予算について

#### 反対討論

金元 直栄

今予算案は、①女性幹部登用の方向性が示されず。②公共施設のあり方で、管理者も置けない文化ホールや体育館がある一方、保育園の運営には金がかかると、大人の都合を子らに押し付けている。③東園、2億円もかけるのなら他の安全な場所に移転すべき。④幼・保再編では、答申と違う園の大規模化が進められている。⑤東古市の道路、75億円もかけるというのに、周辺を工場誘致地区にするとの答弁もない。等の理由で反対する。

#### 賛成討論

江守 勲

令和3年度一般会計予算、84億6075万3千円は、新規事業19件、拡充事業13件、継続事業25件、その内の18件は議会提言も含まれており、子育て、福祉、医療、コロナ対策など大型継続事業に重点配分されている。特に、コロナワクチン接種や町内事業者への経済対策を盛り込み、SDGsの理念を意識した予算となっている。議会で慎重審議した結果、この予算案に賛成する。

#### 反対討論

上田 誠

住民生活やコロナ禍対策など、必要なことは認めるが、少子高齢人口減少で①地域づくり（共生社会）の具体策不足②東園の再検討の必要性③社会資本整備事業（永平寺インター線）の振興方針の不明確④男女共同参画社会の実現の具体策不足⑤えい坊館のあり方等、課題があるため認められたい。

#### 賛成討論

滝波登喜男

第1、第2番の後、本予算に対する7つの提言を議会としてまとめた。予算執行にあたってはこの議案の提言を十分留意していただきたい。

#### 反対討論

長岡千恵子

今当初予算に計上される全ての事業を否定するものではない。松岡小学校区内4園の内、なかよし園と西園が洪水ハザードマップ上安全な場所に立地する。安全で保護者ニーズのある西園を閉鎖。河岸浸食の危険区に立地し入園希望者の少ない東園を継続。子ども優先に考えると西園を残すべき。

#### 賛成討論

酒井 和美

防災対策、ワクチン接種事業、

### 議案第11号

### 令和3年度国民健康保険事業特別会計予算について

#### 反対討論

金元 直栄

本町の国保税は県下で一番高。一般会計からの支援で国保税を引き下げるべきだが、それが見られない。さらに、国保税の未納入を理由に、資格者証の発行が見られないが、税の徴収とは区別すべきで、資格者証は発行しないとされたのに、発行する町の方針には反対だ。

#### 賛成討論

江守 勲

永平寺町国民健康保険運営協議会からの答申をふまえ、税率の見直しを検討。今年度で6千万円の基金を積み事ができ、今後は適正な運用ができる状態になった。また、県との協議でも永平寺町は健全な事業運営をしているとの評価を得ており、原案に賛成する。

## 第2回定例会議案

承認第2号 令和2年度一般会計補正予算の専決処分の承認について	承認	議案第24号 国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第3号 令和2年度一般会計補正予算について	可決	議案第25号 新型コロナウイルス感染症対策利子補給基金条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第4号 令和2年度国民健康保険事業特別会計補正予算について	可決	議案第26号 介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第5号 令和2年度後期高齢者医療特別会計補正予算について	可決	議案第27号 農業集落排水処理施設条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第6号 令和2年度介護保険特別会計補正予算について	可決	議案第28号 都市計画下水道事業受益者負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第7号 令和2年度町立在宅訪問診療所特別会計補正予算について	可決	議案第29号 消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第8号 令和2年度下水道事業特別会計補正予算について	可決	議案第30号 火災予防条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第9号 令和2年度上水道事業会計補正予算について	可決	議案第31号 新町まちづくり計画(新町建設計画)の変更について	可決
議案第10号 令和3年度一般会計予算について	可決	議案第32号 勝山・永平寺衛生管理組合規約の一部改正について	可決
議案第11号 令和3年度国民健康保険事業特別会計予算について	可決	議案第33号 損害賠償の額を定めることについて	可決
議案第12号 令和3年度後期高齢者医療特別会計予算について	可決	議案第34号 損害賠償の額を定めることについて	可決
議案第13号 令和3年度介護保険特別会計予算について	可決	議案第35号 損害賠償の額を定めることについて	可決
議案第14号 令和3年度町立在宅訪問診療所特別会計予算について	可決	議案第36号 固定資産評価審査委員会委員の選定同意について	同意
議案第15号 令和3年度下水道事業特別会計予算について	可決	議案第37号 固定資産評価審査委員会委員の選定同意について	同意
議案第16号 令和3年度農業集落排水事業特別会計予算について	可決	議案第38号 固定資産評価審査委員会委員の選定同意について	同意
議案第17号 令和3年度土地開発事業特別会計予算について	可決	議案第39号 教育長の任命同意について	同意
議案第18号 令和3年度上水道事業会計予算について	可決	議案第40号 教育委員会委員の任命同意について	同意
議案第19号 永平寺緑の村四季の森文化館条例を廃止する条例の制定について	可決	議案第41号 各小中学校教育用タブレット(追加分)の取得について	可決
議案第20号 永平寺緑の村四季の森複合施設条例の制定について	可決	諮問第1号 人権擁護委員候補者の推薦について	適任
議案第21号 町認可地縁団体印鑑の登録及び証明に関する条例の制定について	可決	諮問第2号 人権擁護委員候補者の推薦について	適任
議案第22号 町行政組織条例の一部を改正する条例の制定について	可決	発委第1号 町議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第23号 町職員の特殊勤務手当に関する条例及び永平寺町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	発委第2号 町議会会議規則の一部を改正する規則の制定について	可決

### 議案への賛否一覧

議席順に掲載(賛 賛成 反 反対 一 欠席 □ 退席)※議長(奥野正司)は採決に加わりません

	松川	上田	中村	金元	滝波	齋藤	江守	伊藤	長岡	川崎	酒井和	酒井秀	朝井
議案第3号	賛	反	賛	反	反	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛
議案第10号	賛	反	賛	反	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛
議案第11号	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
議案第12号	賛	反	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
議案第13号	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
議案第26号	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛

※反対または退席があった議案だけ載せています。したがって、その他議案等38件については全員賛成です。

## 議案への賛否討論

### 議案第12号 令和3年度 後期高齢者医療特別会計予算について

#### 反対討論

金元 直栄

国は75歳以上の医療費窓口負担を、年収200万円以上で2倍に引き上げるといふ。それでなくても、高齢者は若い人の何倍もの医療費がかかっている。現実に若い人の何倍もの負担をしている。これをさらに倍にするのは反対だ。

#### 賛成討論

江守 勲

75歳以上で年収200万円以上の方が2割負担の対象となるが、医療限度額の変更ではなく、すべての方が2割負担にはならない。対象となる方には大変申し訳ないが、全世帯型社会保障制度を維持するためにはご負担をお願いするしかなく、原案に賛成する。

### 議案第13号 令和3年度 介護保険特別会計予算について

#### 反対討論

金元 直栄

高齢者を支える制度として必要性は認める。相変わらず介護にまつわる不幸な事件発生は多い。国は、高齢化社会の社会保障を守るためと消費税を導入し10%まで引き上げてきた。しかし、高齢者の医療負担は倍、低い年金では介護施設にも入れない制度になっている。さらに、保険料の引き上

げというが、消費税の引き上げ時の約束と違う。

また、介護保険に含まれる町独自の福祉事業を、町の事業として実施することで、保険料の抑制も可能。それらが見られず反対する。

#### 賛成討論

江守 勲

第8期介護保険計画において、基金を1億円取り崩し料金的大幅な増加を抑えている。また、行政は介護予防事業にも取り組んでおり、原案に賛成する。

### 議案第26号 介護保険条例の一部を改正する 条例の制定について

#### 反対討論

金元 直栄

この条例は第8期の介護保険料の改定だが、基準額を6100円から6400円に引き上げるものとなっている。町はこの会計の基金を取り崩し、保険料の引き上げを抑えていると言いが、この基金は保険料の集めすぎから生じたもので当然のこと。さらに引き下げも可能だが、そこに踏み込んではいないことから反対する。

#### 賛成討論

江守 勲

この条例改正は、次年度の第8期介護保険計画において基金より1億円を取り崩し料金の上昇幅を抑えている。また、行政は介護予防事業にも取り組んでいることから、この原案に賛成する。

### 令和3年度一般会計予算に係る提言

- ① 防犯カメラの設置目的と基準の明文化に取組まれたい。
  - ② 四季の森複合施設は、その名称、目的を変更しリスタートする。今後の活発な施設利用となるよう取組まれたい。
  - ③ 町の小規模農家支援事業は、今後も継続的に行われたい。
  - ④ えい坊館の活用は、設置目的に添って、物産協会、地域の方々、利用者が十分協議して実施されたい。
  - ⑤ 将来のまちづくりに大きく関わる都市計画は、行政の努力で一歩前進した。今後も本町都市計画の一本化に向けて取組まれたい。
  - ⑥ 新型コロナウイルス感染症対策は、住民の安全安心のため最優先で取組み、予算の弾力的な運用を行われたい。
  - ⑦ 子どもの命を守るのは、町の責任。鳴鹿堰堤から五松橋の左岸未整備堤防の整備を国に要望されたい。
- 以上の7点を提言した。



# 令和3年度事務事業検証項目を決定

総務産業建設常任委員会 委員長 酒井 秀和

令和3年2月8日および3月18日に開催し、次の内容を慎重に審議した。

1 年間テーマの数値目標（KPI）について

議会防災訓練は年間4回実施する。（出水期、台風、地震、大雪）

自主防災組織との意見交換会は年間2回実施する。

永平寺町商工会との意見交換会は年間2回実施する。

ア 議会と防災対応

5月の議会防災訓練については出水期災害をテーマに4月の常任委員会にて決定する。

イ 地元商店（街）の活性化について

令和3年1月25日（月）に実施した永平寺町商工会との意見交換会を踏まえて事業者に対してどのようなサポートが必要か意見の最終とりまとめを行った。

2 事務事業検証項目について

①自動走行・IT拠点

②空き家対策関連事業

③ふるさと納税事業

※えい坊館運営管理事業、公共施設

設再編計画については今後の確認方法を検討する。

3 令和3年1月大雪の総括について

令和3年5月17日（月）に合同常任委員会を開催し、防災安全課と確認する。

4 小舟渡駅の土砂崩れについて

全員協議会にて

議会にて現地視察、意見交換を実施する。

※3月24日、小舟渡駅で関係者と現地視察、意見交換を実施済。

5 議会と語ろう会のテーマについて

テーマ 住民とともに創る安全のまちづくり

サブテーマ 大雪、洪水ハザードマップ、コロナ対策、ワクチン接種



小舟渡駅現地視察

# 民間園構想図意見交換と新年度計画

教育民生常任委員会 委員長 金元 直栄

3月定例会中の当委員会は、3月18日6名の委員参加で開催された。

1 初めに、清流地区に移転し、民間園として建設される園の構想図が3月定例会前に示されていることから、図面を基に理事者を交えて意見交換を要請した。

しかし、幼保検討特別委員会が設けられていることから、当委員会では説明しないとして理事者の出席はなかった。当委員会では提出されていた構想図をもとに、民間園について意見を出し合った。

2 年間研究テーマ

当委員会が年間を通じて、研究・検証していく課題の確認と進め方を協議した。

①子ども達にとって望ましい教育（学校）のあり方

昨年同様の課題としたのは、コロナ禍で十分に視察等出来なかつたことから、今年度は先進地への視察や、出来ない場合には講師に来てもらうための学習も行うとし、内容は「学校の統廃

合」「特色ある教育」「校則のない学校」などが示された。

なお、自殺問題、虐待、ひきこもり、不登校なども学習課題として挙げられた。

②新型コロナウイルス対策とワクチン接種、住民の生活

昨年同様の課題に、今年度の大きな課題としてワクチン接種が加わった。この間、住民の生活実態は見えてはいない。昨年実施の町社会福祉協議会との懇談は参考になった。現在、町が行うとしている住民の生活実態の調査結果を待ちたい。などが示された。

3 事務事業評価

6点の事業が示され、協議の結果①学校でのギガ学習、タブレットの活用。②環境、CO2問題（次世代自動車充電インフラ整備）町役場の取り組みは。と決めた。

4 その他

4月開催予定の「議会と語ろう会」は開催できるのかを協議。

## 問 更なる自主防災力の強化が必要だ

答 備えが大切。町民に伝えていく



中村勘太郎 議員

問 除雪対策本部の災害対応の取り組みは。

総務課長 8日午前8時から24時間体制で、災害対策本部を各支所にも設置し対応に当たった。中部縦貫道および国道では約123台の車両が立ち往生し、41名の帰宅困難者を上志比地域振興センターや永平寺支所で受け入れ、社協の協力で約100名の対象者に食料を配達した。また、民家や農業用ハウスの破損等が約11件発生した状況。

町長 福井大学附属病院へ通じる未消雪区間はいかに大事かということ、知事および県土木事務所へ積極的に要望しているが、今後、更に強く要望する。また、国道・県道の排雪の課題も、県土木事務所と協議し連携を強化する。

問 各自自主防災組織は、集落内の排雪等に対し、少しでも行政の

支援を求めているのか。

町長 自分の地域を確認し、警報レベルでどう避難するか、実際に地区の方と避難経路を歩き危険な場所等を確認して頂きたい。町民の方々には更なる防災の大切さ、備えの大切さをしっかり伝えたい。

問 集落内主要生活道路の排雪は、町、自主防災等で確保されたが、国道・県道等が渋滞となった。未消雪区間の対応強化を県土木と連携し、速やかな対



1月の大雪

一般質問 目次

中村勘太郎 … 11P	朝井征一郎 … 12P	松川 正樹 … 12P
齋藤 則男 … 13P	伊藤 博夫 … 13P	長岡千恵子 … 14P
川崎 直文 … 14P	酒井 秀和 … 15P	酒井 和美 … 15P
金元 直栄 … 16P	上田 誠 … 16P	江守 勲 … 17P
滝波登喜男 … 17P		

問 新型コロナウイルス感染症対策を

答 高齢者施設入所者から接種開始予定



朝井征一郎 議員

問 新型コロナウイルス感染対策が続く中、国民の命と生活を守るために、新型コロナウイルス対策としてワクチン接種に関する相談窓口や正しい理解の促進、高齢者施設におけるクラスターの発生を防ぐために、医療従事者向け優先接種が5日から、県立病院で始まり医師、看護師165人が接種、県立病院以外などで6,000人接種、医療従事者の方々32,000人の接種を予定されているが、町では接種に向けて、またはどのような体制で、スケジュールを考えているのか。

答 高齢者施設入所者から接種開始予定を進めている。町としては、副町長を筆頭にワクチン接種の対策チームをつくって準備を進めている。今後コロナセンターを開設し研修を行う。その後、高齢者に接種券を送付し予約を受け付ける。医師、看護師など医療従事者の優先接種の後、65歳以上の高齢者の接種に当たる予定。ワクチン接種は高齢者の方、高齢者施設の方を優先していきたい。それに向けて医療機関、県内市町と調整を進める。

問 営業時間の短縮に伴い影響を受けている町内の個人、中小企業者に対する支援の周知、町では利子補給、経営安定資金などがある。

答 営業時間の短縮に伴い影響を受けている町内の個人、中小企業者に対する支援の周知、町では利子補給、経営安定資金などがある。



答 スムーズに借り入れが出来るように、生活困窮者世帯に対する支援体制を。商工観光課長 県の方から、事業者に対して協力金を支給。国、県や町の各種支援補助制度、また利子補給制度など、商工会、金融機関と連携して支援制度の相談窓口支援を行っている。

問 この改革の目指すのは、小中高の各科目のスムーズな接続だが、実態は接続がスムーズではない。上に進むにつれて教科内容がぼんぼんと飛び感じ、それが子ども達に戸惑い、不安を与えている。深刻だ。

答 既に国は先行地域を選んで実行させている。この改革の目指すのは、小中高の各科目のスムーズな接続だが、実態は接続がスムーズではない。上に進むにつれて教科内容がぼんぼんと飛び感じ、それが子ども達に戸惑い、不安を与えている。深刻だ。

問 ようやく小5・小6の教科担任制が

答 メリットは色々、しっかりと対応する



松川 正樹 議員

問 中教審では小5小6で専門の教員が教える教科担任制を22年を目処に本格導入するとなった。教科は理科・算数・国語。教員が得意分野を教えるので授業の質が高まる。学級担任の先生方の負担も減る。いい改革に違いないが、この方向性をもっと先取りすべきだ。

答 効果が出ていくと報告もあるが、実質的に小中高の一貫教育を実践したらということに他ならない。ぼんぼんと飛び感じを何とか登りやすい、なかなか坂に変えていかなければ。永平寺町独特のカリキュラムを作れば良い。永平寺町が教育でも一歩先行する町になれる。一石三鳥の政策で実現できる。



第3回学校の在り方検討委員会

問 【その他の質問】中学生議会の復活を。

答 学校側の負担にならないように。問 れんが館の内部利用を。

答 積極的に検討はしていきたい。問 永平寺インター線周辺の開発の絵を。

答 永平寺町を車が素通りさせないようになりたい。

問 町の宝、子ども達への教育は

答 子ども達が主役の授業づくり



齋藤 則男 議員

問 教育委員会としては、毎年教育方針を立てると思うが、令和3年度において、特に取り組みたい重点施策はあるのか。

答 伝える、児童生徒の育成を重要課題に置いている。そして、今年度からの、教師の指導力向上事業を推進していきたい。

問 町内の住民が、ウイルスに感染した場合、町としては、県から感染者の連絡はあるのか。濃厚接触者等が、町内に居住する住民の場合。

問 「地域づくり」と「まちづくり」の定義は。

問 生涯学習課長 「地域づくり」とは、自然や歴史・文化、産業等の地域の資源や人的資源を活用しながら、住民同士の交流や支え合いを促し、地域課題を解決し「よりよい暮らし・住みよい地域」をつくること。

問 生涯学習課長 以前提案したが、コロナウイルス禍のことで、事業の実施要綱を見送った内容では「目的」地域資源を生かした住民相互扶助による自発的な地域づくり活動を支援することに、活力ある地域コミュニティの形成を図り、町を元気にする。「補助対象者」

活動する団体。「補助対象事業・経費・金額(案)」①複数の町内会および団体等が共同して広域的な連携を目的とした事業。②わがまち夢プラン育成支援事業補助金を3回交付され、事業の拡充や発展が認められる事業等。いずれも補助対象経費が40万円以上とする予定。補助金額は、補助対象経費の2分の1以内で、100万円以内と考えている。

問 地域づくり応援事業、内容を早期に

答 補正予算で対応する



伊藤 博夫 議員



志比小学校

◆新型コロナウイルスについて

問 町内の住民が、ウイルスに感染した場合、町としては、県から感染者の連絡はあるのか。濃厚接触者等が、町内に居住する住民の場合。

答 県の指示、指導に従い必要な対応を行う。対策本部を開いて情報を共有し、人権を守ることを優先に情報を発信していく。

問 「地域づくり」と「まちづくり」の定義は。

問 生涯学習課長 「地域づくり」とは、自然や歴史・文化、産業等の地域の資源や人的資源を活用しながら、住民同士の交流や支え合いを促し、地域課題を解決し「よりよい暮らし・住みよい地域」をつくること。



町内の地域づくり

### 問 幼稚園・幼稚園の園児のバランスは

**答** 松幼と東園が今はアンバランス

**問** 令和3年度の各園の予定入園児数は。  
**子育て支援課長** 東園30人、西園106人、なかよし園111人、志比南園30人、志比園75人、志比北園15人、上志比園65人、松幼55人、吉野幼34人。

**問** 西園は定員90人に対し106人、なかよし園は定員100人に対し111人で定員の20%増し。東園は定員60人に対し30人、松幼は定員120人に対し55人で定員の50%以下である。この理由は。

る保護者が多いと考えられる。  
**問** 令和2年度と比較して東園は減少、松幼は増加している。松幼は2年後に閉園予定である。その理由は。  
**子育て支援課長** なかよし園と西園に入れなかつた方の第2希望が松幼であった。  
**問** 令和4年度から東園の定員が80人に増

加する。今年の段階で園児数の確保が必要である。  
**町長** 今はアンバランス。定員に対する入園では、なかよし園、西園と比較して、松幼と東園が少くない。令和4年に東園で0歳児をスタートさせると大きな受け皿となり、アンバランスの解消となる。



東園 九頭竜川側



長岡千恵子 議員

【その他の質問】  
**問** 閉園になる園の利活用は。  
**答** 閉園後の用途は未決定。  
**提案** 避難所や地域のコミュニティセンターとして活用しては。  
**行政サービスの周知方法は。**  
**答** わかりやすい情報発信するように努めていきたい。

### 問 テレワーク推進の今後の展開は

**答** 四季の森文化館で6月より開始

**問** 第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略にある四季の森文化館でのテレワークやサテライトオフィス等の1-T拠点施設整備の進捗状況は。いつ頃に利用開始か。  
**総合政策課長** 四季の森の文化館1階スペースにレンタルオフィスを1室、一人用のテレワークスペースを4箇所、コワーキングスペースを3箇所、カウンタースペースを6席設置する。



レンタルオフィス、テレワークスペース、コワーキングスペースが設置される四季の森文化館

事の遅れにより、使用開始は6月初旬となる。  
**問** 現時点で利用者からの問合せ、応募は。  
**総合政策課長** 利用が見込まれる自動走行等の関係機関、企業に声



川崎直文 議員

かけしている。  
レンタルオフィスの利用で1件、コワーキングスペースの利用で2件の話がきている。

【その他の質問】  
**問** 地方回帰を見据えた移住・定住の促進は。  
**答** ワークেশョ、テレワーク等が浸透し、地方移住への関心やニーズ、機運が続く。  
町の基本情報、地域特性の情報、住まい・暮らしの情報、仕事情報、創業・起業の情報等の発信を強化し、移・定住を促進する。  
**問** 地域おこし協力隊の活動開始は。  
**答** 観光物産協会、商工会、JA、まちづくり会社等の団体に地域おこし協力隊の制度の情報を提供し、どういった分野で活動が求められるかを詰める。

### 問 創業支援の強化を

**答** 情報共有し、下支えしていく

**問** 福井県の高速交通ネットワーク整備完了予定の令和5年に向けて永平寺町が躍進するために永平寺町内の商工発展が重要なことから、令和3年1月25日に永平寺町商工会との意見交換会を行い、現状と次年度のおおまかな計画を確認した。これを踏まえ、行政に創業支援制度の強化および広報について提案した。  
**永平寺町の事業所数は。**

**商工観光課長** 平成27年の経済センサスにおける事業所数は794。現在は規模や形態は様々だが、おおむね1000を超える事業者がある。

の理由は。  
**商工観光課長** 令和2年度商工会への新規加入は26件（町外より3件）、脱退は29件。転入の主な理由は交通の利便性が高まったこと、転出要因は永平寺町における福井都市計画などの建築制限によると考えられる。  
**問** 坂井市と比較して創業支援の自身と広報について違いは。  
**総合政策課長** 大きな違いは坂井市へ本社移転する場合の助成制度と障がい者雇用に関する助成があること。

**問** 創業支援について他市町村の成功事例から永平寺町が取り組めるものはないか。  
**商工観光課長** 石川県



酒井秀和 議員

中小企業および個人事業主を対象に関係機関と連携を取り、令和2年度から創業塾を実施している。  
**問** 若者への支援を強化して欲しいがどうか。  
**総合政策課長** 前向きに進められるよう検討・協議する。



地域プロジェクトマネージャー制度

【その他の質問】  
**問** 地方創生、地域活性化に向けて。  
**答** 本町に相応しいか検討していく。

### 問 降雪時のスノープラウ活用は

**答** 新雪には通用すると思う

**問** 国土交通省ではH29年度より関東の国道やバイパスの除雪作業に、除雪用アタッチメントであるスノープラウの試用を行い、実際に導入もされていると聞く。既存車両に追加は積雪量の安定しない地域でも安価に導入でき、特殊免許が不要、操作も装着も簡単で機動性が高いというメリットがある。2トン小型トラック、軽トラックやジムニーなど様々な車両に装着できるサイズが展開されており、車が1台程度通れる程度の狭隘道路の除雪に有効ではないかと思う。雪の降り始めに各地区住民の方が、スノープラウを架装した

トラックで除雪作業を始めることにより、特定の地域の除雪が遅れてしまうような状況を防ぐことができるのではないか。  
**建設課長** もし可能であれば除雪作業の効率があがり早期的な道路交通の確保が図れる。スノープラウの導入は関東地方の話。福井の重い雪に間に合うか。新雪には十分通用すると思うが積雪が重なったときは難しい。排土板だけでなく車の強度補強も必要になる。軽自動車は車検の再取得が必要。もし導入を検討となれば購入補助など一緒に考えていき



スノープラウ装着トラック



問 私立園、どんな園になるのか

答 150名規模の園になる



金元 直栄 議員

問 一昨年3月に示された、幼・保育園施設の再編への答申は、子どもの育ちにとってより良い環境を確保することが必要として、3歳以上のクラスの園児数は20名程度が適正とした。ところが、示された園は150名規模とし、3歳以上は33、34人となっており、当初説明の定員は120名とは大違いだ。どういふことがか。

小学校区の子どもの数から、東園、なかよし園と新園で受け入れることになり、上限は弾力的にした。

副町長 答申の内容は業者の提案にいかされるよう提起しているか。

副町長 答申の中心は業者に提示していない。一人の保育士が見る人数は30人。基準はきちんと満たしている。

意見 子どもの立場でと、盛んに言っているのに、今になって手のひらを返す答弁は情けない。

◆国保会計への支援、考えるべきだ

問 本町の国保税の負担は、一人当たりも世帯でも県内で一番高く



問 永平寺インター線の目指すものは

答 計画的に環境づくりを進める



上田 誠 議員

問 当初計画は東古市交差点の渋滞解消であり、機能補償道開通で解決。中部縦貫開通で交通量の変化は、建設課長 12484台から2100台に減少。(補償道)

問 京福永平寺線廃線に伴い永平寺口駅周辺整備から現計画の要望。住民の主な利用は、中部縦貫道から大野・岐阜方面行き。計画の目的は。

建設課長 中部縦貫道アクセス、南北軸整備、周辺地域発展、広域災害対応など。

問 計画総額は7億円。住民の利便性や生活改善ならルートの変更、既存踏切拡幅、道路整備ではないか。

町長 計画は社会資本交付金で50%補助。町を大きな視点で中部縦貫道全線や新幹線開通に合わせ進める。

問 議会提言で、周辺の開発整備の明確を求めた。今一度用途を明確にし再検討でも遅くないのではないかと。

町長 今、都市計画の見直しマスタープランの改変。計画的に環境づくりを進める。

◆四季の森IOT拠点になれるか

問 用途変更しIOT拠点整備をしている。成功には専属専門の体制が必要。

総合政策課長 現在未対応。課題として認識している。専門家の配置も含め、より効果的な体制づくりを検討し

【その他の質問】  
問 今後の共成社会、支え合いの地域づくり(組織)の推進に「地域おこし人材」の登用を。

答 企画・準備から十分検討していく。

問 コロナワクチン接種はQ&A、フローチャート化などの見える化で。

答 広報誌、別紙の全戸配布で対応。

問 スタンプラリー、生活困窮者、学級支援は。

答 状況把握し対応。

問 近助タクシー今後の展開は

答 地域と連携を図りながら進める



江守 勲 議員

問 令和3年2月1日より、日本郵便と連携し貨客混載の実証を行ったが成果や課題は。

総合政策課長 成果は誤配や事故なく無事配達でき、地域住民からも関心を持ってもらえたこと。課題は、近助タクシーが1日平均19人と見込みを越える利用があり、荷物を配達するにはドライバーの負担が大きいこと、また、個人情報保護の観点や時間の問題などがある。

問 この事業を持続可能な事業にするための課題と解決の取り組みは。

総合政策課長 継続事業とするにはドライバーの確保が課題と考えている。地域



近助タクシー

を支援助け合うのが目的の1つであり、次の世代の地域貢献に繋がるきっかけの1つになればと考えている。

問 今後、近助タクシーの他地区への展開は。

総合政策課長 地域の課題解決に地域住民が主体となって取り組む熱意がなければ成り立たない事業と考えている。他地区でも熱量の

問 同額で新園建設が可能

答 議論を重ねた結果を得た



滝波登喜男 議員

問 清流地区の児童が増え、新園の定員120名を超えるのは確実。その時、東園に行つて下さいと言っているのか。あの場所で増設を、定員を増やすことは、児童のバランスを考えると得策ではない。増設に1億かけののなら、同じ持ち出しで民間園が建つ。考えられないか。

町長 議論を重ねて今の結論を得た。提案は建設的な議論の中で厳しい。

◆関係人口を増やす取り組みを

問 限られた日本の人口を、多くの自治体に取り合うことに限界がある。今、地方に求められているのは、関係人口を増やすこと。居

住地や仕事や国籍を問わず、いろんな人が地域課題に物申し、一緒に実践する取組み。坂井市の企業版ふるさと納税もその一つ。まちづくりに参加して、いまちやなあと思っていたら人を増やすことが求められる。

総合政策課長 改修した四季の森には、自動走行関連企業がコワーキングスペースとして活用する。そこで異業種交流をし、地域課題の解決となる取組みを仕掛ける考え。また、企業版ふるさと納税は国に申請中。応援する企業を募り、協力していく。

◆町職員倫理の取組み

問 国や県で公務員と企業の癒着事件が相次



幼稚園

# 議会・各委員会の議員出欠状況

令和3年1月8日～令和3年3月28日

議員名(議席番号順)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
	松川 正樹	上田 誠	中村 勘太郎	金元 直栄	滝波 登喜男	齋藤 則男	江守 勲	伊藤 博夫	長岡 千恵子	川崎 直文	酒井 和美	酒井 秀和	朝井 征一郎	奥野 正司
出席回数	28	27	25	29	32	25	32	29.5	24	25	32	31	27	25
会議回数	28	27	25	29	32	25	32	30	24	25	32	33	27	25
出席率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	98%	100%	100%	100%	94%	100%	100%

No.	日付	会議名	○…出席	×…欠席	—…員外	△…遅・早	研…研修	傍…傍聴	弔…弔事
1	1/8	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○
2	1/8	本会議	○	○	○	○	○	○	○
3	1/8	議会運営委員会	—	—	—	○	○	—	○
4	1/18	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○
5	1/19	総務産業建設常任委員会	○	—	○	—	○	—	○
6	1/19	議会広報特別委員会	○	○	—	—	○	—	○
7	1/22	議会広報特別委員会	○	○	—	—	○	—	○
8	1/25	総務産業建設常任委員会	○	—	○	—	○	△	○
9	1/26	教育民生常任委員会	—	○	—	○	—	○	○
11	2/8	総務産業建設常任委員会	○	—	○	—	○	—	○
12	2/10	議会運営委員会	—	—	—	○	○	—	○
13	2/15	教育民生常任委員会	—	○	—	○	—	○	○
14	2/22	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○
15	2/22	議会運営委員会	—	—	—	○	○	—	○
16	2/24	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○
17	2/24	議会広報特別委員会	○	○	—	—	○	—	○
18	2/26	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○
19	3/1	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○
19	3/1	本会議	○	○	○	○	○	○	○
21	3/9	本会議(一般質問1日目)	○	○	○	○	○	○	○
23	3/10	本会議(一般質問2日目)	○	○	○	○	○	○	○
24	3/11	本会議	○	○	○	○	○	○	○
25	3/11	議会運営委員会	—	—	—	○	○	—	○
26	3/12	本会議	○	○	○	○	○	○	○
27	3/12	議会運営委員会	—	—	—	○	○	—	○
28	3/15	本会議	○	○	○	○	○	○	○
29	3/16	本会議	○	○	○	○	○	○	○
30	3/17	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○
31	3/17	本会議	○	○	○	○	○	○	○
32	3/18	総務産業建設常任委員会	○	—	○	—	○	—	○
33	3/18	教育民生常任委員会	—	○	—	○	—	○	○
34	3/19	本会議	○	○	○	○	○	○	○
35	3/22	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○
36	3/23	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○
37	3/23	本会議	○	○	○	○	○	○	○
38	3/23	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○

# 議会活動レポート

Eiheiji town council activity report

ホームページ・facebookに  
随時更新中!



3/1  
自治功労者  
「福井県町村議会  
議長会表彰」  
(10年)



長岡議員



3/14 成人式



3/25 自動走行出発式



3/26 給水車祈願祭



3/24 災害視察 小舟渡



3/26 損保協定締結式

テレビ中継で  
ご覧ください

## 6月定例会

(予定)

生中継

- 6月1日(火) 10時～ [本会議]
- 6月8日(火)・9日(水)・10日(木) 9時～ [一般質問]
- 6月11日(金)・14日(月) 9時～ [本会議(第1審議)]
- 6月16日(水) 9時～ [本会議(第2審議)]
- 6月18日(金) 10時～ [本会議(第3審議)・採決]
- 6月21日(月) [予備日]

- 日程は、都合により変更になる場合がありますので、ご了承ください。
- 会議は傍聴することができます。
- ★事前申し込み不要
- ★バリアフリー、エレベーター完備
- ★ソーシャルディスタンスでの傍聴をお願いします

### 議会と語ろう会についてのお知らせ

毎年4月・10月に開催させて頂いております「議会と語ろう会」ですが、新型コロナウイルス感染症再拡大の状況を鑑み、ワクチン接種が進んだ頃、再開させて頂くこととし、次回10月開催を考えております。ご理解たまわりますよう、お願い致します。

# 心繋がる永平寺町議会

## お知らせ

あなたが撮った写真を  
議会だよりの表紙に  
しませんか？

# 私の永平寺町自慢を募集！



写真提供：平林 甚一さん

あなたが大好きな永平寺町の季節ごとの風景や、誰も知らない素敵な隠れスポットをご  
紹介頂いて、議会だよりの表紙にて永平寺町の魅力を発信してください。  
(議会だよりは2月・4月・7月・10月の季刊発行です。)



応募方法：

メールにて「私の永平寺町自慢」の件名にて、ご住所・お名前・お  
電話番号、写真を撮った場所を記載し、画像ファイル（jpg、  
4000×3000px、7MBまで、縦長）を添付の上、下記議会事務局  
のアドレスまでお送りください。6月1日締切

**E-mail:gikai@town.eiheiji.fukui.jp**

※お名前と撮影場所を掲載させていただきます。

※人物が写っている場合には掲載の許可を頂いているものをご提供下さい。

※60～67号で応募していただいたお写真を表紙にさせていただきます。

応募多数の場合には、67号裏表紙にて掲載させていただきます。

## 答える議会 議会改革レポート

ここが変わった！  
議会テレビ放送！！



議会と語ろう会にて、議会の見えにくさにつ  
いて様々なご意見をたまわり、このたび議会放送  
の在り方について変更させていただくこととな  
りました。



**POINT**

議会の翌々月1日より  
順次放送します。

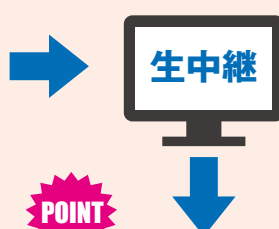
3月議会→5月1日

6月議会→8月1日

9月議会→11月1日

12月議会→2月1日

第2回定例会の放送は  
令和3年5月1日より、  
一般質問から順次  
放送いたします。  
こちら「みての！」



1日2回同じ内容を放送



朝6時



夜12時



議会中継  
録画予約  
しよう！



※放送日程の詳細は、リモコンの番組表を押してご確認ください。

また今後Youtubeにて議会中継動画を配信予定です。

## 編集者のひと言

名称が「えい坊館」になって  
しまったので、一般の方にも設  
立の目的が伝わりにくくなって  
しまったが、本来は松岡藩と、  
その後の歴史を発信することで  
あったと思っている。ところが  
が、今えい坊館のあり方が揺ら  
いでいる。気になって松岡藩の  
歴史を調べてみた。すると、1  
721年に廃藩になっていった。  
ちょうど今年で300年であ  
る。びっくりもしたが、しまっ  
たとも思った。関係者にはすぐ  
伝えておいたが、どうするのだ  
ろう。

たった76年で散っていった松  
岡藩のはかなさを想う時、今一  
度、しみじみと振り返りたい。  
平成5年、300年祭を町を  
あげて大々的に挙行了が、そ  
の思い出はまだまだ色褪せてい  
ない。  
350年祭を復活祭としての  
実行も、えい坊館の設立の目的  
であったのだ。(松川 記)

### 議会広報特別委員会委員

委員長 朝井 征一郎  
副委員長 酒井 和美

委員 松川 正樹・上田 勲 誠  
滝波 登喜男・江守 誠  
酒井 秀和

発行責任者 奥野 正司